

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬村宿泊産業イノベーション研修実践事業
事業主体 (連絡先)	白馬村 (観光課) (0261-85-0722)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,509,000円 (うち支援金: 2,635,000円)

事業内容

○イノベーション実践研修で取り組むこと・学ぶこと

- (1) 宿泊施設経営と観光地経営の基本
- (2) 外部環境の変化や最新の観光動向、時代に即した宿泊施設のソフト・ハード面のイノベーションのあり方
- (3) 白馬村にある宿が、個々もしくは全体としてどういった取り組みをすれば魅力や競争力が高まるかを検討すること。また、その中から具体的な取り組みをグループごとに事業化し、レベルの高い提案に対しては村内外からの出資金等の導入により実現に動いていきます
- (4) グループ毎の面的展開に加え、個々の取り組みについても進捗状況を共有し、講師のアドバイスを受けます



【講義・グループワーク】

【目標・ねらい】

- ① 観光を取り巻く現状と課題を理解する
- ② 宿泊産業の課題と今後のあり方を整理・共有する
- ③ 価値の高め方を理解し個々の経営力を向上させる
- ④ 地域産業を担う人材育成を図る

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・ 宿泊施設の個々の経営力、質の向上に繋がっています (個々のレベルが向上することで周囲のレベルも高まることが期待されます)
- ・ 他産業、他地区、他施設との連携により宿泊を伴う白馬村の滞在の魅力を高めています (個別の施設では動きづらいことや効果が見えづらいことへの取り組みが始まっています)
- ・ 宿泊施設同士の横のつながりを強化するとともに、ビジョンを共有し地域全体の宿泊産業の機運を高められました (合意形成とモチベーションアップへつながっています)
- ・ 意欲ある宿泊施設と接点を持つことで、支援策の充実と地域の人材育成につながっています

※自己評価 【 B 】

【理由】

・ 刻一刻と変化する観光情勢と産業を取り巻く状況の中で、3年後の到達目標に向けて着実に取り組み内容を進展させていきたい

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・ 受講者施設等において、受講後3年を目途に施設環境の課題とされた項目 (或いは未来に向けた投資項目) のイノベーション (ハード・ソフト) の実践に着手したいと考えます。また、そのイノベーション効果を評価・検証しながら、地域全体の宿泊産業の生産性向上と滞在環境の魅力向上の波及効果につなげたいと考えます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある